



ネットワーク 通信 No.6

◆ 平成29年度 第2回 交流会 が開催されました！ ◆

2月9日(金) 宮城県対がん協会において交流会が開催され、11団体22名の方にご参加いただきました。



当日は、第3期宮城県がん対策推進計画について（八巻班長）お話をいただくと共に、東北大学病院『ゆい』におけるピアサポート活動の報告（山内相談員）をしていただきました。後半は3グループに分かれ、「ピアサポート活動を広げていくために」～それぞれの立場で出来ること～をテーマに話し合いました。

ピアサポート活動はまだまだ始まったばかりで、病院の方々にも十分には理解されていない現状にあります。がん患者会やピアサポーターの活動が、患者にとっても病院にとっても良かったと思ってもらえるよう、ネットワークとしても必要性や重要性を訴え続けていきたいと思っています。

◆ NHKフォーラム「がんと生きる」参加 ◆

～患者会紹介コーナーで 患者会・サロンの活動を紹介しました～



1月27日(土) 東北大学百周年記念会館 川内萩ホールにて開催されたNHKフォーラム「がんと生きる」に参加しました。

メインホールでは、基調講演とパネルディスカッションが行われ、パネリストの一人として吉田代表が、自らの体験談やネットワーク代表としての思いをお伝えしました。特設フロア入口には、がん相談支援センターと共に私たちの横断幕を掲げ、フロア内には15団体の協力を得て活動の様子を示したポスターや写真、また普段制作されている作品等を飾りながら、私たちの活動を紹介いたしました。

東北全県からの参加者を迎え入れ、パンフレットやチラシを配布し、たくさんの質問にも対応しました。会場はとても活気があり、私たち自身も仲間として活動する喜びを感じ、有意義な時間を過ごすことができました。ご協力、ご参加いただいた皆さまありがとうございました。



* 特設フロア入口(左)とフロア内(右)の様子

◆ コアメンバー 交代のお知らせ ◆



平成30年度コアメンバーが1名交代となります。

副代表の小野寺幸枝さんに代わり、がんサロン「はなたば」の後藤千鶴子さんがコアメンバーに加わります。

コアメンバー卒業にあたって

「えがお」タオル帽子工房&相談室 小野寺 幸枝

発足準備段階から関わり、事務局もコアメンバーも手さぐりで活動を進めてきましたが、一つ一つの行事を通して、“仲間”の顔がわかるようになり、“つながり”が深まっていく様子を肌で感じることできた2年9か月でした。私の頭の中（思考）ではいつも“ロゴマーク”を意識しながら取組んできたように思います。色の濃い・薄い、隣との距離、ちゃんと輪になっているか、回ることができるか・・・などなど。私自身がこれからも“ロゴマーク”の一つとして、できることを続け、輪の中で、オリジナルカラーを発しながら皆様と共に活動していきたいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いたします。

* 新年度より新しい顔ぶれで活動して参りますので、皆さま今後ともご協力よろしくお願いたします。



ネットワーク 通信 No.5

昨年引き続き！

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2017みやぎ」に参加！

8月26日(土)～27日(日)に開催されたリレー・フォー・ライフみやぎに、ネットワークみやぎの全体集会和位置づけ、みんなで参加しました。前夜まで続いた雨が嘘のように晴れ渡り、2日間無事に開催されました。このイベントにチームとして、また個人として、今年も参加できたことに改めて喜びを感じました。



タオル帽子,補整用パッドの手作り体験

今年は、「えがお」タオル帽子工房 & 相談室の小野寺さん、りんりんの会の高橋さんのご協力のもと、手作りコーナーを設けました。狭いブースの中で、暑い日差しをあびながらも、参加された皆様は、ひと針ひと針思いを込めて作品を作り上げていました。肩を並べながら同じ作業を行うことで語り合う以上に思いが通じ合えたような気がする、参加してよかったと感想を寄せていました。裁縫がちょっと苦手な方には、上手に出来上がった作品を購入することもでき、大変喜ばれていました。



サバイバーズトーク

吉田代表の司会で、森さん、大場さん、伊藤さん、小野さんに、貴重な体験をお話していただきました。真剣で前向きなトークに、私たちも勇気もらいました。ありがとうございました。



何色のリボンにしようかな...



ルミナリエ

熱いメッセージと善意の詰まったたくさんのルミナリエが、一晩中会場を照らし続けていました。



リボンツリー

疾患別カラーをイメージしたリボンツリーを今年も皆さんにご協力いただきながら作成。

リレーウォーク

「がん患者は24時間がん向き合っている」という想いを共有し支援するために始まったリレー・フォー・ライフ。今年私たちチームは、24時間みんなでタスキをつなぎ続けてなんと1383周。みごと3位に入賞しました。来年は1位を目指して頑張りたい！と思います。是非皆さんも一緒に歩きましょう。



《お知らせ》

●第2回交流会：来年2月開催予定

* 詳細は後日ご連絡いたしますので、是非皆さまご参加ください。



ネットワーク 通信 No.4

～ 平成29年度 第1回 交流会が開催されました！～

6月9日(金) 宮城県対がん協会において交流会が開催され、15団体28名の方にご参加いただきました。今年5月に「がんサロン：はなたば」様が加入し、現在の加入団体は25団体になりました。



「がんサロン：はなたば」
の皆さん

当日は、宮城県のがん対策について（八巻班長）、宮城県がん総合支援センターの役割について（針生相談員）のお話をいただくと共に、参加団体の皆さまにもそれぞれの活動紹介をしていただきました。宮城県立がんセンターの藤谷先生からウィッグ助成についてのご質問をいただき、りんりんの会の高橋代表より回答がありました（下記参照）。

今回の交流会では「ネットワークみやぎ」が目指す目標に向かって、ロゴマークを形づくっている🌸同志のつながり合いが深まり、一つの輪になって、少しずつ回り始めてきたのではないかと感じることができました。

県内初！

=ウィッグ助成事業開始：りんりんの会の活動が実を結ぶ=

県内初の画期的な取組として「がん治療に伴う医療用ウィッグ購入と補整用具の助成事業」が今年度から栗原市で開始されました。りんりんの会では3年ほど前から患者の声として大崎市加美町等の議会に訴え続けてきましたが、やっと念願が叶えられました。この取組が県内にも広がっていくことで、全ての患者様が平等な支援を受けられるようになることを切に願っております。（りんりんの会代表：高橋修子）



りんりんの会代表

～第16回東北大学病院市民公開講座に参加～ 展示コーナーで、患者会・サロンの情報提供をしました

6月17日(土) 国際センターにて開催された東北大学病院主催市民公開講座で展示コーナーに参加しました。当日は横断幕やのぼり旗を掲げ、13団体様からご協力いただいたポスターを壁一面に掲示しました。



またテーブルには、タオル帽子と、補整用手作りパットをそれぞれ展示しました。参加者は思い思いに、手に取ったり、被ったり、詳しい作り方について質問するなどしながら、会場はとても賑やかなそして和やかな空気に包まれていました。

一つの目標に向かって皆で協力し合いながら進むことの大切さと共に、その喜びを感じられる展示コーナーでした。ご協力いただいた皆さま本当にありがとうございました。

《 お礼 》

- 患者アンケート調査（平成29年3月～4月実施）へのご協力ありがとうございました。現在、最終報告書を作成中です。アンケート配布総数532、回収数271(51%)…5月1日現在7/6 河北新報に中間報告が掲載されました。

《 お知らせ 》

- 今年もリレーフォーライフへ参加します！ 皆様のご協力をお願いいたします!!
日時：8月26日(土)～27日(日) 会場：地下鉄国際センター駅前広場



ネットワーク 通信 No.3

聖路加国際病院精神腫瘍科部長

保坂 隆 先生 をお招きして **研修会開催しました!**



*アンケート結果の詳細は、ホームページ内にて掲載しておりますのでそちらも併せてご覧ください。
<http://miyagi-gansupport.com/>

11月13日(日)宮城県庁「みやぎ広報室」にて、研修会を開催しました。保坂先生からは、がん患者サポートにおける基本的なカウンセリングの心得についてご講義いただきました。非常に難しい内容にもかかわらず、とてもわかりやすく講義していただき、会場からもたくさんの質問が寄せられました。アンケートでは、講義の理解度について9割以上の方が理解できたと答えています。



また、ロールプレイを講義の途中に何度か取り入れたことで、緊張したが体験することで難しさや注意するポイントが理解しやすかったなど、8割以上の方が良かったと答え、もっとたくさんロールプレイを行いたかったなど、積極的な意見も多数聞かれました。



全体の感想の中でも、「カウンセリングの役割を強く意識した」「参加型の研修会で学びが多かった」「自分にできるか自信はないが、今後患者会等で活かしていきたい」「楽しみながらとてもためになる講義だった」など、多くの方々に好評をいただきました。

県内ではまだ、実際にピアカウンセリングを行う機会や場所は限られていますが、皆さんの日々の活動の中で、今回学んだカウンセリングの心得を活かした関わりを行っていただけたら幸いです。

～『がん患者会・サロン ネットワークみやぎ』を代表して～

副代表 小野寺 幸枝

今回の研修会は主催事業としては第1回目の研修会でしたが、44名の方々(回答者40名、複数回答あり:がん体験者27名、家族6名、医療者12名)にご参加をいただき、保坂先生から講義を受けながらロールプレイをし、その都度わからないことを質問していくという内容で研修会が進んでいきました。

研修会の中では、がん体験者、ピアとして何ができるのか、誰かのお役に立ちたいという思いで質問されている方々がほとんどで、どう答えて良いか悩んでしまう問いかけやかかわる際の注意点など、保坂先生にはわかりやすく具体的に教えていただき、なかなか聴けなかったことや知っておかなければならないことなどを学べた研修会でした。

保坂先生から「身近でソーシャルサポートしてくれる人が2~3人必要」と教えていただきましたが、私自身が誰かの2~3人の中に含んでいただけるように、できる範囲で努力していきたいと感じているところです。

保坂先生、参加された皆様、開催にあたったスタッフ(県担当者・事務局)皆様に、心から感謝いたします。

《お知らせ》

- H28 11月より 仙台厚生病院 がんサロン「いこい」が加入 <現加入団体は24団体>
- H29年2月10日(金) 13:30~15:30 第2回 ネットワーク交流会開催予定(対がん協会内)
- H29 2月頃 ネットワーク主催の患者アンケートを実施予定... ご協力お願いいたします!



ネットワーク 通信 No.2

「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 みやぎ」 みんなで 参加しました！



ネットワークみやぎのブースの前で

去る9月24日(土)～25日(日) 仙台国際センター内
せんだい青葉山交流広場にて、「リレー・フォー・
ライフ・ジャパン2016 みやぎ」が開催されました。
横断幕・のぼり旗を新調し、文字通りネットワーク
みやぎの旗を掲げて初参加いたしました。

疾患別カラーをイメージしたリボンツリーでは、
たくさんの方にご協力いただき、緑のツリーが華や
かに彩られました。二日間で、約100名の方にお立
ち寄りいただきました。ご協力いただいた皆さま、
本当にありがとうございました。そして、お疲れ様
でした。



サバイバーストーク



ラストウォーク

～参加者の声～

がんの子どもを守る会宮城支部 代表 佐藤陽子

私はサバイバーではありませんが、23年前当時10歳の息子を小児がんで失くしました。
悲しみと苦しみ絶望の中、私を救ってくれたのがある人の言葉でした。「大丈夫、失ったのではなくずっと
貴方の側にいる、貴方の心の中で生きている」今回初めて参加、体験しましたリレーフォーライフでしたが、
皆さんと共に歩き、心を通わせる事が出来ました事にとっても感謝致します。悩み苦しむ人の側には、必ず誰
か寄り添ってくれるし、私もまたそんな人になりたい…改めてそう感じた二日間でした。

《 お知らせ 》

- 『がん患者会・サロン ネットワークみやぎ』 ホームページ完成！
<http://miyagi-gansupport.com/network/>
- 10/28(金) 17:00～18:00 NHKラジオ第一「ゴジだっちゃ！」吉田代表、田村 生出演予定
- 11/13(日) ピアカウンセリングマインドを学ぶ研修会 開催予定

❀ ネットワーク 通信 No.1 ❀

《 活動報告 》

～ 第1回 交流会が開催されました！～

平成28年度『がん患者会・サロン ネットワークみやぎ』第1回交流会が、6月10日宮城県対がん協会にて開催され、13団体、約30名の方にご参加いただきました。当日は、参加団体より今年度の活動計画等を紹介していただくと共に、吉田代表よりネットワークの年間スケジュールの説明が行われました。

今年度は、リレーフォーライフ（9/24～25）への参加をネットワークの全体集会として位置づけて取り組むこととなり、グループに分かれて様々なアイデアを出し合いました。当日皆様からいただいた意見を基に、コアメンバー（運営委員）会議にて、参加



（上:話し合い、右:発表の様子）



方法等についてさらに詳しく検討していきたいと考えております。

詳細が決定し次第、皆様にお知らせさせていただきますので、ご協力をお願いいたします。

私たちの

❀ ロゴマークが決定しました！ ❀

たくさんのご応募をいただき、ご協力くださいました皆さま、本当にありがとうございました。当日参加された皆様からの投票結果により、マンマの会パセリの菅原朱美さんのデザインをネットワークのロゴマークとして使用していくこととなりましたので、ご紹介いたします。



（投票の様子）



宮城県内の様々ながん患者さん、ご家族、賛同者が一つの輪になって、ネットワークの活動を盛り上げていきたいという願いが込められています。名称の下には県花である「ミヤギノハギ」を加え、それを囲むように、それぞれの疾患のリボンカラーをイメージした色とりどりの花が肩を組んで輪になるように構成しました。皆様にも親しまれ、愛着が湧いてくることを願っています。

（by マンマの会パセリ 菅原朱美さん）